

お取引先の皆さまへ

高機能な新社屋の完成を誇りに思い、心からの感謝を込めて



**【新社屋建設の目的】**

医療卸である弊社にとりまして、医療用医薬品、医療機器・材料等、取り扱い商品を、安心、安全、確実にお客様である医療機関にお届けする事が第一の使命でございます。

新社屋を建設することにより、商品管理の品質を向上し、流通機能を更に効率化することで「商品の安定供給」を揺るぎないものにしたいと考えています。

また、今回は社屋の完成に合わせて、現在の浦上支店の営業機能を本社に移管・統合いたしました。物流機能につきましても順次移管し、来年2月末までには本社に完全統合する予定でございます。

人的資源を含めた経営資源の効果的な活用を実現し、仕事の効率化と生産性の向上につなげたいと考えています。



## 【新社屋の設計コンセプト】

「企業理念を具現化する医療卸の物流拠点」

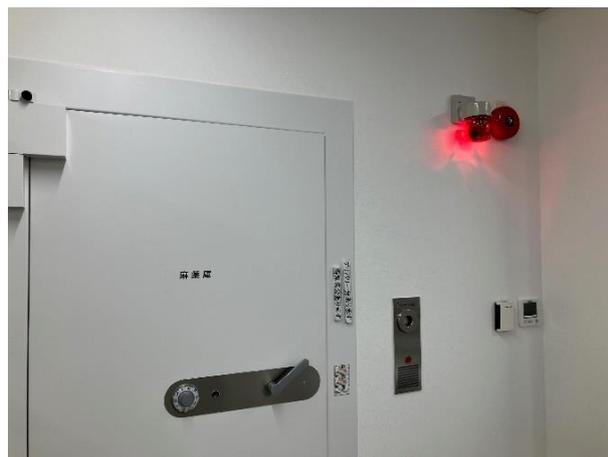
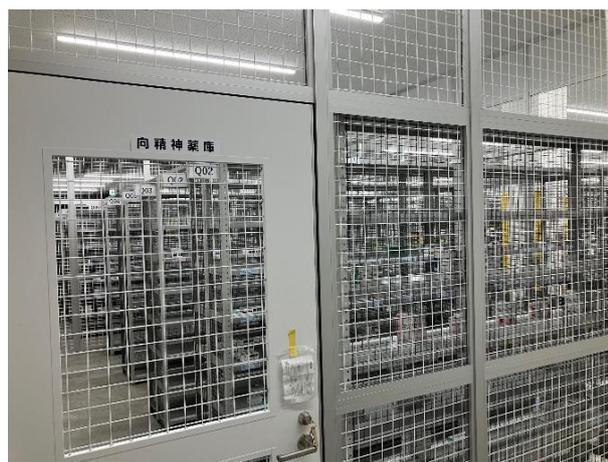
「仕事の効率化を図るためのオフィス空間」

「企業として環境に配慮した施設」

を目指します。

### ①高度な安全管理と効率的で機能的な医薬・医療物流施設の実現

- 厚生労働省策定の「医薬品の適正流通（GDP）ガイドライン」に沿った医薬品の品質管理、温度及び湿度管理が可能な構造、設備を整えた施設です。また、物流動線や視認性にも配慮した備品配置や外構整備により、入出庫や庫内作業が効率的に行える設計がなされています。また、指認証システムを用いた入退室管理を導入するなど、セキュリティ面での配慮も怠っておりません。



### ②非常時においても業務を継続できる施設として（BCP対策）

- BCP対策として、発電機設備を設け、停電時にも48時間の電力供給が可能です。また、雨水貯蓄槽を設け、雨水をトイレ洗浄水に利用可能としています。敷地西側が土砂災害計画区域となっていることから、万が一の土砂流入に備え、建物のコンクリート外壁を1.5m立ち上げることで物流倉庫への被害を抑える配慮をしています。



### ③省エネルギー及び再生可能エネルギーの利用による環境負荷低減

- ・建物の断熱・遮熱対策として、断熱性の高い外壁材や適正な断熱材を使用し、窓ガラスにも複層Low-Eガラスを採用することで外皮性能を高め、空調負荷の低減に努めています。照明設備も点灯区分の細分化、照明スケジュール制御、調光制御等で効率化を図り、室内照明を均斉化して省エネと執務環境整備の両立を図っています。太陽光発電、雨水利用などの再生可能エネルギーの採用や超節水型衛生器具の設置などあらゆる場面で省エネルギー化を意識しています。



#### ④明るく開放的なコミュニケーション型オフィス空間

- ・ コラボレーションとチームワークを促進するため、明るく開放的なオフィス空間を実現しました。物流事務所は物流倉庫に面した配置とし、営業フロアは来客者への配慮、打ち合わせスペースの充実を図っています。食堂は息抜きやコミュニケーションの場としてストレスを軽減するだけでなく、気軽な「打ち合わせスペース」としても活用可能です。また、ジェンダーダイバーシティにも配慮し、女性が働きやすい環境を整えました。女性が多く働く受注オペレータ室は南東向きに明るいオフィス空間とし、トイレにはパウダーコーナーやプライベートBOXを設け、明るい清潔感のあるデザインとしております。



添付の写真には、上記コンセプトに適合する図柄や新社屋の完成図を含んでおります。ぜひ、ご覧ください。

最後に、弊社新社屋の完成と業務開始にあたり、あらためて皆さま方に心よりお礼申し上げます。これからも、お客様へのサービス向上と価値提供に一層の努力をまいりますので、引き続きご支援とご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

藤村薬品株式会社  
代表取締役社長  
藤村 尚賢